



加賀田中学校区



青色 防犯 パトロール 隊って？

全国的に子どもを狙った犯罪が多発する中、わが町河内長野において「子どもが犠牲になる凶悪事件を起こしてはならない」との思いから、学校、見守り隊、各団体の役員、委員さんと相談して取組み、平成18年11月29日に大阪府警察本部の許可を得て、加賀田中学校区「青色防犯パトロール隊」が活動を開始しました。今年は2年目に入り、48人の隊員でパトロール活動を行っています。また、毎月定例会議を開催して、活動報告、活動予定や情報交換を行い、河内長野警察署、交番、学校への報告を行っています。

活動資金はどうしているの？

個人の自動車を提供していただいてパトロールしています。主たる活動資金は、校区内の自治会、町内会、団体等からの助成金、寄付金、イベント模擬店収益で活動しています。平成20年8月、赤い羽根共同募金運動60年記念配分の対象が決まり「ジャンパー」、「ノボリ」を製作できました。

これまでにどんなことがありましたか？

加賀田通学路のガードレール破損の改修、幼稚園横の放置自動車撤収、通学路の清掃等を市、土木事務所と折衝して解決してきました。また、地域のイベントに参加して、子どもたちや地域の方々と一緒に楽しみ、多くの人と出会いました。



みんなで力をあわせて 安全・安心まちづくり

このチラシは、赤い羽根共同募金より助成をいただき作成しました。

防犯効果はあるの？

5月青パト総会での河内長野警察署生活安全課、橋高課長のご挨拶を紹介します。

市の犯罪情勢は、総数的には減少傾向で推移していましたが、今年に入り街頭犯罪、空き巣が発生しております。子どもに対する声かけ事案は昨年並みで、公然わいせつ、痴漢行為など、「安まちメール」は12件発信しています。メール出来ない内容を含めるとそれ以上多い。

青パト活動地域の犯罪発生率は低下しています。効果として地域のみなさんの連帯感が復活しはじめ、小学校の児童のみなさんの態度、言動も変わってきた。挨拶できなかった子が挨拶するようになり、一石二鳥どころか何鳥になるかわからない効果があると認識しています。警察としては、みなさんのお力を借りて、子どもの安全を守る活動を加賀田地区が発信源として、市全域に広がるようにしていただきたい。

青パト隊員になってください！

継続発展のため隊員の増員が必要です。パトカーは、2名以上乗車が決まっていますが、大阪府警の講習を受講した1名が乗車すれば、未講習の方も乗車できます。パトカーに乗り、子どもたちを見守りませんか。